

## 令和3年度第5回政策会議概要

- 1 開催日時：令和3年7月19日（月） 9:15～9:25
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題1 令和3年度ワーク・ライフ・マネジメントの推進について

#### ●天野総務課長（資料1に基づき説明）

6月30日開催の中央労使協働委員会の内容を情報共有する。

令和2年度については、新型コロナウイルスの感染症に関する業務等の影響が全庁に及んだことから、特例業務を除いて設定した時間外勤務時間数の目標は達成しているものの、超長時間勤務者の実績が前年度に比べ増加している。

今年度においても、部局長をはじめとする管理職員がリーダーシップを発揮し、業務の平準化等を進めていくとともに、職員の健康管理を徹底するため、労使協働でワーク・ライフ・マネジメントを推進していく必要がある。

#### ☆高間総務部長

資料1別紙にあるとおり、「日本一、働きやすい県庁（しょくば）アンケート」の分析をふまえて、6月30日の中央労使協働委員会で「労使協働による、3つの『あと10%』活動」として労使で提案を行った。この点については、先般、知事からも庁内メールにより職員向けにメッセージ発信されているところである。

各部局長におかれては、3つの取組のうち、とりわけ「業務の廃止・見直し」について、コロナ禍で廃止・見直して影響がなかった業務、効果的に実施できた業務をふまえ、令和2年度より業務をあと10%やめる、あと10%見直す取組を、職場・職員のアイデア・提案に耳を傾け、実践していただくようお願いしたい。

#### ☆加太医療保健部長

まずもって新型コロナの対応にあたって、各部局から応援をいただいていることについて改めて感謝したい。

医療保健部においては、今年度に入ってもかなり厳しい状況が続いている。昨年と比べて感染者数も増えているとともに、ワクチンに関する業務なども増えており、なかなか業務の改善・見直しが難しい状況にある。

引き続き、各部局のご協力を得て乗り切っていきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

#### ☆鈴木知事

今回検証した「日本一、働きやすい県庁（しょくば）アンケート」について、令和2年度は新型コロナや豚熱など大変な中であって、過去2番目に高い満足度になったということは、職員みんなが自覚をもって一生懸命頑張ってくれた結果だと思うし、

マネジメントを工夫してもらった結果だと思うので感謝したい。

しかしながら、引き続き新型コロナなども大変な状況が続くので、マネジメントに細心の注意を払いながら、職員のメンバーがモチベーション高く頑張れるようにやってほしい。

そのためには、アンケートの分析をふまえた「あと 10%」活動について、具体的に目に見える形でやっていくことが大事なことだと思う。わかりやすい活動だと思うので、各部局内で所属長を含め、職員のメンバーに周知をしたうえでしっかり取り組んでほしい。

夏季休暇の取得については、この夏も新型コロナの感染状況などもあると思うが、連続取得ができるよう、工夫をしたマネジメントをお願いしたい。